

会議名	第8回新城地域協議会		公開
日時	平成29年1月19日(木) 午後7時00分～午後9時00分	場所	勤労青少年ホーム 集会室
出席者	(委員) 長坂富雄、柿原典子、加藤節子、加藤賢一、藤田 廣、石野敏弘、 牧野直美、山本 敏、村田孝司、森 正彦、坂口知子、鈴木健二、 石黒 謙治、上田寿彦、村田博和、竹内浅男、大倉幸二		
	(事務局) 自治振興事務所：田村所長、林副参事		
欠席者	(委員) 松下愛三、鈴木喜代治、坂巻邦彦、 内藤尚武、野末史朗、小竹山朋也	傍聴者	0名
配布資料	次第、分科会まとめ(見直しイメージ図)、平成28年度新城地域 自治区地域活動交付金募集要項、交付金回覧チラシ、平成29年 度カレンダー、協議会委員名簿		

議題・議事・発言等(要点記録)

1 開会

本日の会議成立の報告及び会議録署名委員の指名
(上田寿彦委員・村田博和委員、竹内浅男委員)

2 議事

(1) 平成29年度地域活動交付金について

地域活動交付金分科会の委員長より、平成28年12月8日開催の分科会について報告がされた。

① プレゼンテーションを省略できる低額申請枠等の設置の有無平成28年度新城 地域自治区予算事業について

分科会では、A案からD案まで意見が出た。協議会で決定することになったことを報告した。

- ・A案金額で分ける、B案部門で分ける、C案 団体に分ける、D案 昨年と同じより、A案(10万円未満)でプレゼンテーションを省略することができるという結果に決定した。ただし、少額でもプレゼンテーションを希望する団体には認めることとする。

<主な意見>

委員：あまり細分化することは、かえって煩雑になってしまう。

委員：金額で分けるくらいがよい。ただし、プレゼンテーションがやりたい場合は金額が少額でもできるようにするべきである。

② 「募集期間」と「審査日」の決定について

分科会では、今年度同様でよいという意見でまとまったことを報告した。

- ・A案：今年度同様で4月初旬(4月3日(月))日から5月中旬(5月12日(金))。
B案：他に意見あり。
A案に決定した。

審査日については、次年度に決定することになった。

<主な意見>

委員：あまり早いと、準備が大変であり、遅いと活動に支障が出る場合がある。例年と同じくらいの時期がよいと思う。

委員：審査日についても、昨年同様に今年度の募集チラシには5月下旬から6月上旬でよいと思う。

委員：異議なし。

③ 交付の額について、自己負担率の設定の有無について

分科会では、今年度同様でよいという意見でまとまったことを報告した。

- ・ A案：現行のままとする。（新城地域自治区の交付金予算の範囲内とし、申請事業ごとに50万円を上限に、交付対象経費の100%以内で交付するものとする。）

B案：他に意見あり。

A案に決定した。

<主な意見>

意見無し。

会長：来年度の新城地域自治区地域活動交付金募集要項の内容が決まったので、平成29年度の募集要項とチラシの案については、次回協議会に事務局で用意していただき、決定したいと思います。

④ 新規団体からの申請件数の拡大策について

事務局：今年度より、事前に相談ができるチラシを事務局で作成し、各戸配布をさせていただいた。今年度についても同様に各戸配布したいと思う。

会長：各戸配布については是非があれば協議する。

委員：異議なし。

事務局：地域で活動している団体について、事務局では把握できないので、地域協議会の委員にも協力をお願いしたい。

委員：社会協議会がボランティア団体を把握しており、冊子になっている。

事務局：地域で活動している団体に宣伝してもらい、自治振興事務所につないでもらうことをお願いしたい。

(2) 平成29年度新城地域自治区予算事業について

- ・ 事務局より、今年度のスケジュールを説明した。

<主な意見>

会長：今日は意見をいただくのみとしたい。

委員：田町の清水は今後緊急時の生活用水に利用できるため、定期的なメンテナンスが必要になる。

委員：自治区予算の情報収集に、若者議会、女性議会等の意見も取り入れていく必要があると思う。

(3) その他について

- ・ 地域協議会等について気づいて意見をいただいた。

<主な意見>

委員：協議会委員の若返りや女性委員が増えるとよいと思う。

会長：次回協議会が今年度最後の協議会になるので、皆さまのご意見いただきたいと思ひます。

3 その他

- ・ 平成29年度地域協議会委員について

後日事務局より今年度区長に郵送で報告書の提出をお願いした。

- ・ 次回協議会開催について

平成29年2月16日（木）午後7時より開催

4 閉会